

署名で救おう! フクシマの未来 目指そう200万署名

フクシマを救おう!

Save the Fukushima

福島第一原発水素爆発による放射能汚染地域
フクシマからの提言



福島県は、これからどうなってしまうの?

原発の水素爆発によって、フクシマは大きな打撃を受けました。

私たちはこれから数十年にわたり

放射能のある環境で生きていかなければなりません。

私たちは政府に対する3つの提言をまとめました。

賛同の署名をお願いいたします。

【提言内容詳細】

1 放射能被害に対するセーフティネットの整備

除染を徹底して行き、みんなが安全に暮らすことができる環境を早急を実現するとともに、現在福島県に住んでいる高校生以下の医療費を無償とし、子供たちの健康の確保を図る。

また、健康被害の早期発見のための調査を進めるとともに、放射線医療の確立を図るほか、被害が生じた場合は医療費をすべて無償とすることを決定し、県民の不安を取り除くこと。

2 放射線の平和的利用による最先端医療の推進

被ばくの影響でもっとも心配されるがんを完全に治療するため、放射線を平和的に利用した国際的にも最先端の医療を実現し、福島県民の安心を取り戻すとともに、生まれ変わった新しい「Fukushima」を世界にアピールできるようにすること。

3 福島県の法人税、所得税、消費税等の相当期間の無税化

人や企業の流出が続き、福島県がゴーストタウン化しないよう、福島県を無税特区とし、県内企業の存続はもとより、国内外の企業の進出を促進して、福島県の活力を復活、向上させるようにすること。



放射能の危機を考える会

「放射線の危機を考える会」は福島県郡山市を中心とした法曹・医療・研究・教育・商工などに携わる有志の呼びかけで誕生しました。

